

令和元年8月開催 第4回福部地域振興会議議事概要

日 時 令和元年8月29日(木) 9:00~10:10
会 場 福部町コミュニティセンター 2階 会議室
出席委員 南部敏、上山弘子、坪内悟、宇山英俊、小谷孝文、濱田香、西尾祥幸、岩崎幸子
谷岡陽一、加藤美幸、中川玄洋(順不同敬称略)
事務局 平戸支所長、大島副支所長兼地域振興課長、森産業建設課長、湯谷市民福祉課長、
河本地域振興課課長補佐

1 開会

2 議題

(1) 福部サロンの開催内容について(資料1)

事務局より福部サロンの開催内容について説明。

会 長：福部町のまちづくりについて、事例を発表してもらい、その内容を聞いて皆さんで語りあってもらい、最終的に福部町を元気にすることが目標。

【質疑応答】

委 員：もぐもぐタイムの部分がワークショップになると思うが、ここで最終的に何を見出したいのか。参加者に何かを提案してもらわないと次につながらないと思う。話をするだけで終わらないようにしないといけないと思うが、どのように計画しているのか。

事務局：元気塾の担当者との協議をして、成果目標を設定したい。

委 員：参加目標人数は誰を対象としているのか？町民か、参加団体の関係者か？団体が参加すれば30~40人はすぐに集まる。

事務局：多く町民に参加していただき、発表者の活動を知っていただき、地域振興やまちづくりに興味を持っていただける方を増やしたいと考えています。

委 員：全町民を対象に告知するのか？

事務局：そうです。

委 員：対象をぼんやりさせると来なかったり、何を話していいのかわからなくなりがち。こういう会を何回かやるうえで、興味がありそうな母集団を掴むのであればいいと思う。様々な方法で開催を周知することで町民が知るには良いが、行ってみようには繋がらない。防災無線は安全安心な情報以外あまり気にかけて聞いていない。今回の周知方法で、どう伝わって参加されたかを検証するには、事務局で意図を持っておいた方が良い。楽しいよねってことを、どうやって届けるかは考えながらやった方が良い。7団体全部発表するか？

事務局：元気塾の担当者との打合せを行った時は、全部発表してもらおうこととしたが、時間の制約もあるので4~5団体に絞る予定です。

委 員：エリアバランスをとって団体を選ぶとか、女性というキーワードでくくれる団体など、発表団体にテーマ性が出ると、今回はこういう人たちの発表があるので、それに興味がある人を中心に来てくれたらうれしいといった組み立てができる。または、7団体全て発表してもらえば、団体の関係者が来られると思うので、当日集まった人がお互いを知り、その人たちとの話の場を作ることは最低限担保できるので、1回目としてはそういう方法もありかと思う。

委 員：この取り組みは継続するのか？

事務局：元気塾は今年度で終了するが、取り組みは支所独自に継続したいと考えています。

委員：目指すところは元気塾なしでも、地域で続けていけるようなものをしていきたいということか？

事務局：そうです。

会長：地域振興会議のメンバーが主体となって進めていきましょう。

(2) 今年度の道の駅の視察内容について（資料2）

事務局より今年度の道の駅の視察内容について説明。

【質疑応答】

委員：視察に行くということは、受け入れがあって行くということか？見学だけか？

事務局：道の駅に視察を依頼し、事前に質問を送って準備していただきます。

委員：現場だけを見て回るだけの視察か？話し合いができる場所が設けられるのか？

事務局：現場を案内していただき、質疑応答ができるような場を設けることとしています。

委員：きなんせ岩美については、経営状況や、地域のスーパー的なポジションなのか、観光的なポジションなのか、従来の予測と現状がどうなのかを聞いてみたい。今年の春まで観光受付的などころに地域おこし協力隊を配置して人員を確保していたはずだが、その後はどうなっているとか、運営補助金をもらっているかどうかなども聞いた方が良い。

西いなば気楽里は、設置までのスケジュールが相当遅れている。当初、道の駅の調整役として気高支所に地域おこし協力隊を2名配置していたが、協力隊の任期中に道の駅の設置が間に合わず、道の駅の業務ができなかった。また、気高3町で設置しているので、誰が何をやるのかがなかなか決まらなかった。そういった苦労話がどこまで聞けるのか。

会長：聞けるところまで聞きましょう。

(3) 来年度の視察先について（資料3）

事務局：来年度の視察先について説明。委員から提案のあった山口県周南市にある道の駅「ソレーネ周南」を予定していたが、日帰り旅費しか予算がつかないことが判明したため、近隣の道の駅や地域振興や活性化に取り組んでいる施設とさせていただきたい。今回は候補地を何案か上げさせてもらっているが、具体的な場所については次回の会議で協議させていただきます。

【質疑応答】

委員：どの段階で道の駅を作ることや、構想を決定するのか？

事務局：現在策定している実施計画（3か年）では、視察までしか計画していない。具体的なプラン作成については、次期以降の実施計画となる。

委員：視察をしても、道の駅について特に何もしないこともあるのか？

事務局：視察による委員の意見を蓄積し、将来、道の駅を作ることとなった場合に反映させていただきたい。

福部町は駅前を中心に活性化を図っていく方針だが、店舗もないのでそういった拠点を作っていく必要がある。道の駅はできなくても、そういった拠点を作っていくために道の駅の視察をして、意見がまとまれば早い段階で計画を作り、予算要求をしていきたいと考えています。

(4) 旧中学校舎の利活用について（資料4）

事務局：旧中学校舎の利活用について説明。福部未来学園敷地内の建物は用途上不可分であり、民間事業者への貸し付けはできない。市で利活用するしかなく、候補として文化財課が出土品の保管、未来学園の物置、PTAの学校支援活動での使用がある。その方向で決

めたい。

委員：未来学園の学校運営協議会で報告したが、PTAの有志で会を作り、継続的な学校支援ができないか検討中。教育委員会と学校の許可を得て、エアコンが設置してある特別支援室、保健室を子供と一緒に掃除をした。未就学児も利用することを想定し、階段にネットを張った方が良いなどの意見が出た。この部屋でどんなことでできるか、思いつくことを黒板に書き残した。

【質疑応答】

委員：資料にはPTAとPTAのOB会となっているが、どういうことか？

委員：現在はPTAの現役しかいないが、今後子供の卒業とともにPTAからは離れていく。卒業後にも行動力のある人に残ってもらい、学校のために何かできないか模索中。PTAにすると、役員を置かなければならず、誰がやるのかもめるので、ゆるやかな有志の会にしている。

3 その他

(1) 鳥取市総合防災訓練について（資料5）

事務局：鳥取市総合防災訓練について説明。9月10日に福部未来学園で開催されるので、参加可能な方は、ご参加ください。